

ベストクラス選定理由書

作成者 : 樋口一宗 山中一英  
石井瑛之 濱口武仁 岡田晃典 山下依里

科目名称 教育方法学		(担当教員名：伊藤博之)	
課程 学部3年次	開講時期 後期		
授業形態 講義・演習	授業規模 30人以下		
インタビュー対象教員名 伊藤博之 (実施日時：7月26日(火)9時～10時30分；実施場所：総合研究棟3階小会議室)			
インタビュー対象受講者名 杉浦千珠子 (実施日時：7月26日(火)9時～10時30分；実施場所：総合研究棟3階小会議室)			
<p>選定理由</p> <p>この授業では、全15回の後半部において、学生が「授業者」となり、(前半部の講義内容をふまえた)授業を考案し実践する。学生が「受講者」から「授業者」へと立場を変えることによる学びの深まりを企図しており、学生と教員が協働することで学び合う授業が成立していた。このことから、本授業科目を平成27年度ベストクラスの一つとして選定する。</p> <p>上記の判断に至った理由を、以下に具体的に詳述する。</p> <p>① 学生が「授業者」となることがもたらす学び</p> <p>学生一人ひとりが授業をつくり、それを互いに検討・評価し合うことを通して、学生同士が話し合い学び合う雰囲気が醸成された。学生は一人につき1時間の授業を担当するよう求められたが、自分が担当した授業だけでなく、他の学生が担当した授業においても積極的に参加し学びを深めていった。</p> <p>② 教員との一対一の時間を通じた学び</p> <p>学生は、担当する授業を、教員と一対一で対話しながら組み立てていくため、それを通じて、本授業科目がねらいとする学習内容を深めることができた。また、学生へのインタビューにおいては、授業時間外での教員との対話が、本授業科目の雰囲気づくりやモチベーションの高まりに貢献した可能性が語られた。</p> <p>③ 「1枚ポートフォリオ」を活用した教員と学生による相互評価の仕組み</p> <p>1枚のポートフォリオが用意され、そこには、自らが書き記すコメントのほかに、教員と他の学生からのコメントが記入される。教員や他の学生から寄せられた評価やコメントは学生の学習意欲を高め、学生は相互に積極的に建設的な意見交換を行うようになった。学生は、教員からの適切なアドバイスを好ましく受け入れるとともに、他の学生の自分とは異なる視点や多様な意見に、新鮮さを見出し、更なる探求心を感じていた。</p> <p>④ 学生同士の関係性の変化</p> <p>本授業科目への積極的な参加を通して、学生同士の関係性は、より良好なものへと発展していった。</p>			